

施策への取組み状況

2026年3月時点

健康経営戦略マップで定めた各指標について、産業医・保健師とともに経年評価を行い、PDCAサイクルを回して健康経営を推進しております。

健康経営に関する指標		目標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	評価※1	備考
健康経営の取組に関する指標	定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	
	ハイリスク者フォロー率 ※2	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	血圧・血糖ハイリスク者への健康指導・経過観察実施率
	ストレスチェック受検率	100%※7	98.3%	98.0%	98.8%	98.1%	98.2%	○	
	メンタルセルフケア研修受講率	100%※8	92.5%	90.4%	94.8%	93.3%	97.1%	○	社内Eラーニングでストレスチェック対象者全員に対して実施
	健康情報の配信数	年4回以上	4回	5回	5回	4回	4回	○	医療職等による健康ニュースの配信、健診説明会等
	年間有給休暇取得率	70%以上	66.3%	64.7%	58.8%	62.60%	60.82%	△	
	年間有給休暇・指定休取得日数※3	前年以上	13.3日	13.0日	18.6日	19.2日	18.4日	△	年間有給休暇および指定休取得日数の平均日数
インターバル勤務11時間達成率	100%※7	99.97%	99.99%	99.97%	99.91%	99.91%	○	勤務終了から翌日の勤務開始までの時間を11時間以上とする	
従業員等の意識・行動変容に関する指標	再検査受診率	100%※9	59.4%	66.2%	68.2%	69.5%	70.3%	○	要再検査以上の従業員の再検査受診率（5000円補助あり）
	運動スコア※4	前年以上	-	-	2.73pt	2.61Pt	2.76Pt	○	よい運動習慣を持つ従業員スコア平均値（5.0Ptが最大）
	睡眠スコア※4	前年以上	-	-	2.73pt	2.68pt	2.53Pt	△	よい睡眠習慣を持つ従業員スコア平均値（5.0Ptが最大）
	喫煙者率※4	前年以下	-	-	33.60%	30.00%	30.50%	△	喫煙習慣がある従業員の割合
アウトカムに関する指標	プレゼンティーズム評価 活性度※5	85%以上	未測定	未測定	83%	84%	84%	△	心身健康な状態での勤務を100%とした場合の活性度評価 参考：他社平均/製造業79.8%(2025年度)
	アブセンティーズム評価 平均日数※4	2.5日以下	未測定	未測定	2.6日	2.4日	2.1日	○	心身の病気や怪我で仕事を休んだ日数の平均値 参考：他社平均：3.1日(2024年度)
その他の指標	高度健康診断受診率（PET/脳MRI）※6	100%※8	81%	95%	99%	97%	91%	○	法定を超える高度検診の受診率（最大10.5万円補助あり）
	高ストレス者率 ※4	10.0%以下	12.1%	9.2%	9.0%	8.0%	10.3%	△	厚労省の数値基準に基づく判断基準（素点換算表）で調査 参考：全国平均/製造業14.4%（2025年度）
	総合健康リスク ※4	100以下	96	88	85	88	86	○	数値が高いほど心身の健康に対する内在リスクが高い 参考：全国平均/製造業93.8%（2025年度）

※1 評価：その他の場合は最新実績を起点とし、前年から良化または中期目標値を達成の場合○ / 前年から悪化(2.9%未満)の場合△ / 前年から悪化(3%以上)の場合×

※2 ハイリスク基準：血圧（収縮期血圧180mmHg/拡張期血圧110mmHg以上）、血糖（空腹時血糖200mg/dL、またはHbA1c10.0%以上）に該当する方をハイリスク者とする

※3 指定休：新しい働き方として、2023年度より指定休制度を導。各職場に応じて選択可能で、週休3日モデル、年10日指定休モデル等がある

※4 ストレスチェック時に測定（うち運動・睡眠・喫煙率は健康調査Seedsにより調査）

※5 プレゼンティーズム評価：WHO-HPQ版プレゼンティーズム（0～100点）を用いて調査し、活性度を指標とする

※6 高度健康診断：PET検査または脳MRIを選択し受診できる制度。40/45/50歳以上2年ごとに実施している

※7 98%以上達成で評価○とする ※8 90%以上達成で評価△とする